

『2025 年竜の子・M の会 総会・偲ぶ会のご報告』

6 月 19 日から 20 日にかけて猛暑の中、下呂温泉の定宿「雅亭」にて前田先生、三船先生と校友そのご家族皆様が集結しました。二日間にわたり、竜の子・M の会 2025 総会と昨年ご逝去されました蔵敷名誉会長と雅亭オーナー山岸事務局長を偲ぶ集いが開催され、盛会であった様子を以下にご報告させていただきます。

まずは会員の高齢化と今後の運営に関わる重要な議題として、会長交代について審議が行われました。多くの意見が交わされる中、三船先生より最適任者として城北倶楽部会員で同窓会・校友会役員の高橋淳一氏(1995年卒)が推薦され、満場一致で承認されました。新たな会長の就任により、会の運営体制の刷新と今後の活動の充実が期待されますが、就任時期については然るべき時期ということであり藤本現会長は慣例に従い名誉会長に就任頂くことになりました。

次に本会最大の功労者を偲んで献杯がおこなわれ、故人への感謝と追悼の意を表しました。献杯の後、山岸事務局長の奥様(大女将)からは心温まる謝辞が述べられ、参加者一同、故人への思いを新たにしました。また出席できなかった校友よりお酒のお供えとご遺族様向けのお手紙が遺影と一緒に供えてあり、改めて会友の絆の深さを感じさせるひとこまとなりました。

アルコールの消費も進んで佳境になったところで学園の話題や機械工学科が創設 75 周年を迎えることについても話題提供がなされ、歴史と伝統を振り返る貴重な時間を共有し名残惜しい中でお開きとなりました。

翌朝、全員で山岸家のお墓参りをおこない、故人の冥福をお祈りいたしました。昨今のお墓終いという都会の事情とは関係なくご立派なお墓の前で参加者全員で記念写真に納まりました。

なお、2026 年には、M の会が結成されてからちょうど 10,000 日を迎える節目の年になると前田先生より紹介があり「この日に竜の子会会員も参加して欲しい」旨の要望があり、再会を約束して下呂駅で解散となりました。

この二日間の集いは、酷暑にも負けず、校友同士の絆と故人への敬意を新たにす
る有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後もこの計測研究室卒業生会の伝統
と仲間意識を大切に、M の会世代へとつなげていくことが使命と感じたのは皆様も
同じであったと存じます。たいへんお疲れ様でした！

文責 池田